

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

(年少組)

幼稚園番号 1973410

園名 子どもの森幼稚園

## 1. 活動のテーマ

### 「光」

#### テーマ設定の理由

園内外には光が多く差し込み、遊びの中で子ども達が興味関心を持てる環境にあるため、遊びの中で子どもの気づきも多く、生活の中野電気・陽・火等の光。保育の中の室内に入ってくる光。自然に恵まれた園庭で見られる光。地域の緑の多い公園での光。水の中や色に見られる光の不思議や疑問の声、子どもの「わくわく」に向き合って、子ども達の不思議や探求心を一緒に楽しめる各学年（3歳児～5歳児）共通のテーマとして設定しました。

## 2 活動スケジュール

- |       |                 |                    |
|-------|-----------------|--------------------|
| 4, 5月 | 光と影ってなんだろう？     | かげふみ鬼ごっこをして遊ぶ。     |
| 6月    | 制作①             | たいようちゃん（フィンガーペイント） |
| 7, 8月 | 素材の違いで光の浸透が変わる？ |                    |
| 9月    | 制作②             | 色水のひかり（体感アート）      |
| 10月   | 制作③             | にじいろのみち            |
| 1月    | 絵画              | 太陽をテーマに            |
| 3月    |                 | ほしになれたら（体感アート）     |

## 3 活動の内容

3月13日(金) 「ほしのひかり」

準備物：・黒いビニールシート・色鉛筆・クレヨン・養生テープ

### 目的、ねらい

- ・夜の光（お月様や星）に興味・関心を持ち、日常の「なんで？」「フシギ」を探求する姿勢を育てる。
- ・自分や友達の考えを話し合い、異なる価値観や味方を受け止める経験を通して、社会

性や思考力の基礎を育む。

- ・見たことのない世界を想像し、自分のイメージを作品として表現する楽しさを体験する。

## ① 導入：お月様や星について

教師 「みんな、いつも夜は誰と寝ているかな？」

子ども達 → ・パパ・ママ・皆で…等々

教師 「じゃあね、夜たまーにお出かけしてお空を見た事はあるかな？どんなものが見えた？」

子ども達 → ・まん丸お月様・半分のやつ・飛行機



教師 「月のほかに何かあった？そう、星も見えるね。じゃあ皆が見た空には、  
☆（←ホワイトボードに描く）こんな形のものが浮かんでる？」

子ども達 → ・ちがうー！そんなのあるわけないよ・点々だよ

教師 「そうだね、ぽつぽつしたのが浮かんでいるね。今日はそんなお星様を作ってみ  
ちゅうよー！」

## ② 製作開始

教師 ★事前に机と机の間に黒いビニールシートを張り、ピンと張った状態にしておく。  
「いちご組にもお星様を作るよ！よく見てね。お絵描きじゃないよ。この黒いシ  
ートに、色鉛筆をそーっと近付けて、優しくプスッと刺してあげると、おやおや、  
小さな穴が出来たよ。お友達と力を合わせて沢山のお星様を作ってね。」

子ども達 → ・おもしろい！・あいたー！

※やり過ぎて危険なやり方の子供もいた為、声掛け



教師 「皆で下にもぐってどんなふうになっているか見てみよう。一人では潜らないでね、皆で潜るよ。」

子ども達 → ・ひかってるー！ ・暗くて明るい！ ・ブラックホールみたい！



※机を撤去し、穴をあけたシートを床に貼る。

★クレヨン準備

教師 「じゃあお空に好きなお絵かきをしようね。」

子ども達 → ・これはオリオン座 ・恐竜が食べに来たよ ・合体しよう

教師 → オリオン座？よく知っているね！



教師 「今から先生がみんなの上にお星様のお空をひらひら飛ばすよー！

子ども達 → 歓声を上げはしゃいでいる

自分も持ちたいと主張し、教師から自分たちでシートを持つ形に変化



★昼食後、4つのシートを1つにつなげ、園庭に行き、クラス全員でシートの中に入り自然光が穴から入る様子を楽しむ。



#### 振り返り（振り返りによって得た先生の気づき）

- 普段絵本等で見ている星と、実際に空に浮かんでいる星の形の違いに気付く事が出来た。
- 本来の色鉛筆の使い方がインプットされている為、初めは戸惑いながら穴をあける子供が見られた。
- 友達と共同で作品を作る楽しさを味わう事が出来た。